

第5-2回 服薬教室

5 2

薬の剤型と自己管理方法について知る

◇進め方

1. 挨拶（気分と体調の確認）
2. 宿題の確認
3. 前回の復習（服薬教室の目標確認）
4. 今日の内容の紹介
5. ビデオ視聴
6. 薬の剤型の確認
7. 薬の自己管理方法について学ぶ
8. 質問がないか確かめる
9. 宿題設定と次回の予定確認

◇挨拶・体調確認

＜挨拶をかわし、前回の訪問以降の出来事をたずね、気分と体調の変化を確認します。＞

〇〇さん、こんにちは。

前回の訪問以降、何か困ったことはありませんか？

気分や体調はいかがですか？

◇宿題（チェック表）の確認

＜チェック表を確認し、努力をほめて継続を促します。＞

〇〇さん、服薬症状チェック表は記入しましたか？

毎日きちんと薬をのんで、具合もよいようですね。

上手に記入できています。引き続き記入してくださいね。

◇服薬教室の目標とこれまでの学習内容の確認

＜服薬教室の目標確認をして、学習の意欲を高めます（できれば毎回）。＞

＜将来の夢（目標）と関連付けることも有効です。＞

服薬教室の目標は何であったか覚えていますか？

服薬教室の目標を達成することは、〇〇さんの目標の達成に役立ちますか？

＜次に、これまでの学習内容の理解度を確認します。ビデオは観ずに質問します。時間がない時は、理解が不十分であった回や☆印のみでも結構です。＞

（例）今までの復習をしますね。第3回の内容ですが、薬を飲むのをやめたらどうなるか覚えていますか？

◇前回の復習

＜ワークブックの『第5-1回服薬教室』を開くように促します＞

それでは、前回の復習をしましょう。前回は、薬を服用するための正しいステップと薬の自己管理方法について学びました。前回のビデオを観て、また質問をしますので、注意して観てください。

＜タブレットで『第5-1回服薬教室ビデオ』を視聴します。＞

＜『第5-1回服薬教室』の質問を一通りします。時間がない時は☆印だけでもよいです。＞

＜解答につまったら、タブレットで『第5-1回服薬教室（回答付き）』を示します。＞

何か質問はありませんか？

◇今日の内容の紹介

今日の服薬教室では、『薬の剤型と自己管理方法』について学びます。

今日のビデオは、錠剤や粉薬など薬の剤型の違いとそれらの管理方法について説明しています。観終わったあとで、〇〇さんの薬を確認して、服薬を忘れないための方法について話し合いますので、注意して観てくださいね。

◇ビデオ視聴

＜タブレットで、『第5-2回服薬教室ビデオ』を観ます。＞

いかがですか。もう一度ビデオを観ますか？

＜理解を確かめながら、繰り返し観るのもよいでしょう。＞

◇薬の剤型の確認

では、薬の剤型の違いを実際に確認してみましょう。

<薬の剤型見本を提示して説明します。>

<剤型見本がない場合は、服薬教室の資料*を印刷して使用してください。>

このように薬には様々な剤型があります。

同じ成分、同じ効果を持つ薬でも、目的、用途、あるいは飲みやすさなどを考慮して色々な剤型が用意されているのです。

何か質問はありませんか？

<次いで、利用者の薬を確認します。>

では、〇〇さんの飲んでいる薬を見せていただけますか？

<一緒に剤型を確認します。>

〇〇さんは今、**と**を飲んでいますが、飲み心地はいかがですか？

<肯定的であれば>

それはよかったです。飲み心地が悪いと、薬を飲み続けるのがつらくなってしまうことがありますからね。

<否定的であれば>

それは困りましたね。でも同じ成分の薬が、今日学んだように異なる剤型で用意されていることもありますので、次の診察時に主治医に相談してはいかがでしょうか。

◇薬の自己管理方法について学ぶ

<「タッパ」と「お薬カレンダー」を事前に用意しておきます>

ところで、〇〇さんは、例えば朝の薬を飲んだか飲まなかったか忘れてしまったことはありませんか？ 飲み忘れは、多くの方が経験しているようですよ。

<利用者の返事を聞きます。>

それでは、ビデオで観たように、「タッパ」と「お薬カレンダー」を実際に使って、薬をセットしてみましょう。

<利用者の薬袋を確認して1日の服用回数と量を確認します。>

〇〇さんの薬の袋を確認して、主治医に指示された通りに1日分の薬をタッパにセットしましょう。

<利用者に薬をタッパにセットしてもらいます。>

<うまくできないときは、適宜指導します。>

できましたね。セットはとても簡単です。大切なことは、毎日忘れずにセットすることです。

次に、カレンダーに1ヶ月分の薬をセットしてみましょう。

<利用者に薬をカレンダーにセットしてもらいます。>

<うまくできないときは、適宜指導します。>

カレンダーにも上手くセットできましたね。

薬は毎日、タッパやカレンダーから取り出して飲みます。これなら万一飲み忘れても、薬が残っているので、飲んだか飲まなかったかがすぐにわかりますよね。

昼間、外出するときは、昼に飲む薬をチャック付きの袋に入れておくと便利ですよ。

<利用者の生活パターンに応じて、自己管理自方法の利点を伝えます。>

◇質問がないか尋ねる

今日の内容、薬の剤型の違いとそれらの管理方法について何か質問はありませんか？

<質問に答え、必要があればビデオを観なおします。>

◇宿題の設定と次回の予定確認

今日の服薬教室はこれで終了です。

今日学んだ、薬の自己管理方法は利用できそうですか？

明日以降もチェック表を毎日記入して、次回の訪問の時にみせてください。

次回の予定は、___日の___時からです。